



南渡島

松前町立松前病院

病院データ



住所	〒049-1593 松前郡松前町字大磯174番地 1
URL	http://matsumae-hospital.com/
連絡先(窓口)	事務局 係長 佐々木 俊典 0139-42-2515 (代表) mhp@matsumae-hospital.com
病床数	93床
専門研修指導医数	2人
臨床研修指導医数	3人
外来患者数	186人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	50人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
標榜科	内科 外科 整形外科 小児科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 人工透析
給与(月額)	40万円
処遇	身分: 地方公務員 健康保険: 北海道市町村共済組合に加入 労災: 公務災害を適用 赴任旅費支給 医師公宅完備
サブスペシャルティ	家庭医療専門医

総合診療専門研修プログラム「松前塾—ルーラー—ジェネラリストへの道—」

患者に問わずどのような訴えで来院されても初期対応し可能な限り地元での継続診療を行います。「必要であれば高次医療機関へ適したタイミングで搬送を決定する」ことが出来るような、地域で必要とされる医療に関心を有する医師(rural generalist)を養成します。

〔連携施設〕

【病院】市立函館病院/函館おしま病院/北海道立江差病院/江別市立病院/砂川市立病院

院長から



院長 八木田 一雄

当院は、後方病院のある函館市から約98km・2時間の距離に位置する93床の小規模病院で、「専門医と連携したプライマリ・ケア」を提供しています。

対象人口は約12,000人で、小児から高齢者までの日常病への対応を中心に、救急・在宅・終末期・予防医療、専門医への適切な紹介を行い、また、医学生・研修医に対して「医療過疎地におけるプライマリ・ケア」として、実践・参加型の医学教育にも力を入れています。

研修委員長から

地域とともにあり、地域で必要とされる医療に強い関心を持ち、日々実践する<ルーラー・ジェネラリスト>。その実際の現場を経験し、今後更に進んでゆく少子高齢化時代において必ず必要とされる姿勢・能力を磨いてみませんか？

10年先の日本の縮図とも言えるここ松前町は、間違いなくよい経験の場になると思います。同じ志を共有する指導医一同、熱意ある君を待っています。(個人個人のペースで研修もできますよ！)



研修委員長 保脇 雄介



ローテーション例

年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		1	施設名	松前町立松前病院						市立函館病院			
	領域	総診Ⅰ						内科					
2	施設名	松前町立松前病院			-			市立函館病院					
	領域	総診Ⅱ			その他			救急			小児科		
3	施設名	江別市立病院						松前町立松前病院			函館おしま病院		
	領域	内科						総診Ⅰ			その他		

施設所在地の概要

松前町の概要・特色

北海道の最南端に位置し、西は日本海、南は津軽海峡に面し、東西約50km、面積は293.25 k m²で、国道228号線沿いに集落が形成されています。白神岬の絶景、折戸浜・小浜の海岸景勝など、海岸線は変化に富んだ景観を有し、オオミズナギドリの繁殖地として知られる渡島大島、ケイマフリなどの繁殖地である松前小島とともに、松前・矢越道立自然公園に指定されています。気候は、対馬海流の影響を受けて、北海道で最も年間平均気温の高い、温暖な気候です。夏の雨量が比較的多く、積雪量は少なく、寒暖差も少ないなど、北海道としては大変恵まれた気象条件です。

松前町は、北海道の最南端に位置し、温暖な気候風土に恵まれ、四季に応じた味覚を満喫できる町です。

桜の名所として知られる北海道唯一の城下町で、一年を通して多くの観光客が訪れます。

交通アクセス

木古内駅～松前 約1時間30分

函館駅～松前 約3時間

新函館北斗駅～松前 約3時間20分

(1) 鉄道 = はこだてライナー (新函館北斗駅～函館駅)

(2) バス = 函館駅～松前

または、鉄道 = 道南いさりび鉄道 (函館～木古内)

→バス = 木古内～松前

函館空港～松前 約3時間20分

(1) バス = 函館空港～函館駅

(2) バス = 函館駅～松前

または、鉄道 = 道南いさりび鉄道 (函館～木古内)